

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任				
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	3年次	紙田 清・藤田 尚樹・甲斐 匡倫				
使用教科書	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ (東京書籍)		使用副教材	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ WORKBOOK (東京書籍) Database AVAIL (桐原書店)				
科目の目標			道徳教育のねらい					
日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、 1 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 2 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 3 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けて会話を発展させたり、課題の解決策をおおむね論理的に詳しく話して伝え合ったりすることができる。 4 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 5 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落からなる文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。			1 言語活動による他者との関わりを通じて、互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。 2 単元の題材を通じて、世の中の様々な事象に関心を持ち、積極的に関わる姿勢を養う。					
学習活動内容			育てたい6つの力(資質・能力)					
			1 主体的学習力	2 基礎力	3 思考・分析力	4 発信・表現力	5 自己認知・協働 力	6 計画実行力
1	授業(リスニング・大意把握)		○	○				
2	授業(リーディング・情報整理)		○	○				
3	授業(リプロダクション・要約)			○	○			
4	授業(ペア活動・グループ活動)	○				○		
5	パフォーマンステスト(スピーキング)			○	○			
6	パフォーマンステスト(ライティング)			○	○			
7	多読	○				○		
8	提出物	○					○	
9	小テスト	○	○					
10	課題確認テスト	○	○				○	
11	定期考査		○	○	○		○	
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	[知識] 学習した言語材料の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援のもと文章等を聞く、読む、書く、または話す技能を身に付けている。 (40%程度)		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、一定の支援のもと、日常的または社会的な話題について聞く、読む、書く、または話すことができる。 (40%程度)			外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に聞く、読む、書く、または話そうとしている。 (20%程度)		
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。							
		授業での取組	課題への取組	実技テスト	小テスト	課題確認テスト	定期考査	
	知識・技能	○		○	◎	◎	○	
	思考・判断・表現	○		◎	○		◎	
主体的に学習に取り組む態度	○	◎	○					

英語コミュニケーションⅢ 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
	月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4	UNIT 1 (15) 単語テスト (毎週) 速読・リスニング (毎週)	勉強や仕事に有効な考え方や習慣について考える。	似た経験を述べ合う 言い換える		
	5	UNIT 2 (15)	AIの進化と社会に与える影響について考える。	希望を述べる 賛成する 疑念を示す		
	6	UNIT 3 (15) 前期中間考査	文化人類学の観点から、世界の民話の特徴や類型を学ぶ。	意見を受け止める 別の意見を述べる		
	7	UNIT 4 (15)	タイムカプセルに残された物から何を学べるか、未来に向けて何を残したいかを考える。	賛成・反対する 提案する		
	8 9	UNIT 5 (15) 前期期末考査	古今東西の事例から、異文化の中で暮らすことの意義と困難について考える。	理由を述べて断る		
後 期	10	UNIT 6 (15)	だれもが楽しめる芸術のあり方について考える。	相手の発言を訂正する		
	11	UNIT 7 (15) 後期中間考査	持続可能な社会のための資源の開発や養殖の取り組みについて知る。	進める 断る 理由を尋ねる		
	12	UNIT 8 (15)	スポンサーシップや命名権などの金銭と倫理の問題について知る。	提案する 意義を示す		